

2020 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年 10 月 7 日
- 事業名 : 平成 30 年 7 月豪雨災害からの復興に向けた被災者再建と地域食堂が連携した居場所づくり支援プロジェクト
- 資金分配団体 : 一般社団法人 RCF
- 実行団体 : 特定非営利活動法人宇和島 NPO センター

1 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
「宇和島市旧市内、吉田、三間」の3拠点が、被災者にとって相談しやすい場となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 ・拠点を活用する住民数 	日常の交流の中から住民の声を拾い、解決に結び付けることができる状態	2023.2	<p>相談件数吉田地区：118 件 メディアで掲載されることが多くなり認知度が上がった。</p> <p>拠点を活用する住民数：684 人 来所者数 962 人</p> <p>相談内容 宇和島地区：19 件 平成 30 年豪雨で大木が避難場所に倒れたままになっている。</p> <p>物資の支援先がないか等 吉田地区：115 件 復旧した農道の側面に土のうを設置してもらえないか。 土のうをもらうことはできないか。 住まいの不用品片付けできる人はいないか。 スマホの使い方を教えてほしい。 空き地の草刈整備をしてくれる人はいないか。 みかん研修のため住まいに関するサポート依頼。 海岸清掃はできないか。 空き家紹介依頼。</p>	2

				<p>ボランティア募集依頼。 清掃活動に協力してもらえないか。等 三間地区：10件 児童クラブの迎えの時間を延長してほしい。 公園の滑り台でけがをする可能性があり、危険。 イベントをしてほしい。 コロナ禍で人と関わる事が減ったので、災害時のコミュニティが不安 その他：68件 リサイクル回収活動をしませんか。 障害者施設等に食卓の支援提供はできませんか。 食材支援したい。 チラシ作成できる人材はいないか。 被災者宅へ食卓と椅子を支援できないか。 不要衣類、食器を活用できないか。 施設入居者へ家財支援はできないか。</p>	
<p>人が集まれるパッケージができることにより、被災者と地域住民の交流ができています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの実施件数 ・参加者リピーター件数 ・パッケージプラン件数 	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージプランができ、実施している状態 ・3拠点で月1回以上のイベントが継続的に実施されている 	2023.2	<p>イベント実施件数：22件 リピーター件数： パッケージプラン一覧：スマホ講座・防災ゲーム・パラコード作り・ドライフラワー植物雑貨教室・収納力UP！たたみかた教室・ボードゲーム・コミュニケーションゲーム・障害者スポーツ・モルック・プレパーク イベント実施 防災ゲーム：約340名 海岸清掃：160名 お出かけサロン：コケ玉作り、佐田岬等38名 体験型防災プログラムうわじま防災BOX×子ども食堂約350名 もてころ食堂でお困り事カフェコーナー：約210名</p>	1

<p>他の団体も交流できる体制を構築し、支援側の動きが活性化している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他団体との連携回数 ・新しく連携した団体数 	<ul style="list-style-type: none"> ・他団体との連携イベントが実施できている ・新しく連携を始めた団体が1つ以上ある。 	<p>2023.2</p>	<p>他団体との連携回数：62 団体 うわじまグランマ・もてころクラブ・日赤奉仕団・宇和島市 NPO 団体 If・社会福祉協議会・奥南母子愛育会・地域支え合いセンター・住吉自主防災組織・希望の光プロジェクト（NPO 法人 RAYofHOPE）・吉田町本丁会・スペースゆう・りんりんサークル・子ども食堂連絡協議会・宇和島市 NPO 団体大好き宇和島・宇和島 NPO 団体てくてく・宇和島地区広域事務組合消防本部・Clean the coast・災害 NPO 宇和島 7.7・神戸防災士会会長・宇和島市 NPO 団体 26 団体 新しく連携した団体数：16 団体</p>	<p>2</p>
<p>ボランティアをきっかけに地域外の人に関わる仕組み（ボランティア BANK）を作り地域内外の人の還流を活性化させる関係人口の創出を目指す体制ができている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ボ ラ ン テ ィ ア BANK のしくみができているか ・ボランティアの登録数 ・ボランティアに 来た人の数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア BANK の登録者が 100 人以上いる。 ・ボランティア BANK の仕組みができ、関係者が利用している。 	<p>2023.2</p>	<p>ボランティアバンク登録者数：71 名 （センター6 名含む） ボランティア参加者数：96 名 ボランティアバンク募集呼びかけ件数：12 件</p>	<p>2</p>

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2：概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
来場者の記名、連絡先記入の促し、県からのイベント実施要綱に沿って実施、また、検温、消毒、リストバンドの着用。

③ 広報（※任意）

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

毎週水曜日 FM がいやで 13:00～13:55CStoys で出演できる時。イベント案内やセンター活動報告等を YouTube 同時配信

宇和島 NPO センターホームページ、インスタグラム、Facebook、公式ラインで活動報告、イベント予定、ボランティアバンク募集、ボランティア活動募集を周知

広報うわじま R4.7月号に活動紹介

R4.4.22 愛媛新聞学習プログラム「ブラ防さんぽ」（7月3日）

R4.8.23 愛媛新聞「災害ケースマネジメント」

R4.9.18 愛媛新聞「体験型防災プログラムうわじま防災 BOX×子ども食堂」

R4.9.26 愛媛新聞「西日本豪雨被災 復旧状況 砂防ダム見学吉田町白井谷」

2.広報制作物等

宇和島 NPO センターの新しいリーフレット作成し配布。

ボランティアバンク募集チラシを作成し配布。

チラシ：茶話会、体験型防災プログラムうわじま防災 BOX×子ども食堂、隣りんプレート、線香花火ナイト、お出かけバスツアー

土のう選手権、ブルーサンタ

ポスター：体験型防災プログラムうわじま防災×子ども食堂

3.報告書等



